

# ネットハローールだより 81号

平成28年11月25日 相模原市立総合学習センター 学習情報班 発行

## デジタルタトゥーという言葉を知っていますか？



### デジタルタトゥー危険度チェック

- SNSに顔写真を掲載したことがある。
- SNSに掲載している写真に位置情報がついているか気にしたことがない。
- 友だちが自分のSNSの写真を転載している。
- グループトークに写真を掲載したことがある。
- 複数のSNSを同時に使ったことがある。
- SNSで友だち登録をした人に自分の写真等を見られるよう設定している。
- 自分のSNSへの不快な書き込みに対し、相手のSNSに抗議や意見を書き込んだことがある。
- 嘘をSNSに記載したことがある。
- 知らない人を撮影しSNSに掲載したことがある。
- 悪ふざけのつぶやきや画像、映像をSNSや動画サイトに掲載したことがある。
- 好きな人や親友に、自分の恥ずかしい写真を送ったことがある。
- 冗談で犯罪予告をSNSに載せたことがある。

「デジタルタトゥー」とは、インターネット上に公開された書き込みや写真などの個人情報、一度体に入れると消すことが難しいタトゥー（入れ墨）と同じように、後から消すことが困難であることを指した言葉です。

インターネット上に公開したデジタル情報はコピーや保存が簡単である、という特徴を持っています。そのため、自分のSNSでの情報を削除したとしても、誰かが情報を保存している、拡散してしまうことがあります。つまり、一度インターネットに公開した情報は消すことが難しいのです。

「デジタルタトゥー」となった情報は、何か月、何年もたったあとに、発信した本人を苦しめることがあります。中には昔の書き込みのせいで、推薦入試や就職ができなくなってしまった例もあるそうです。

左の危険度チェックをつけてみましょう。もし**1つでもあてはまる**ものがあれば、あなたの個人情報が「デジタルタトゥー」となっている可能性があります。

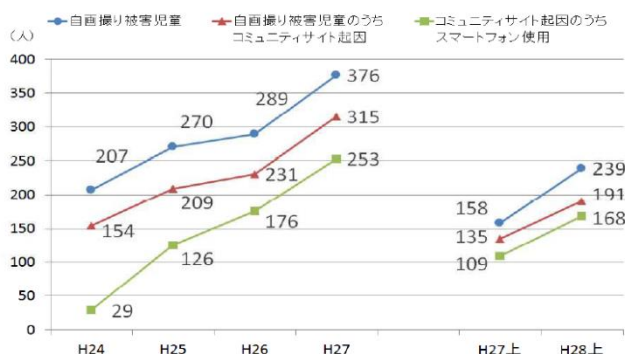
特に、自分の恥ずかしい画像を、恋人や親友だから、仲間内でのノリ、といった理由で撮影、送信し、犯罪に巻き込まれるケースが増えています。

## 自画撮り被害が増加

平成27年中に児童ポルノ事犯の自画撮り被害に遭った児童は376人であり、平成24年(207人)から毎年増加しています。平成28年上半期においても、239人と前年同期と比べ81人(51.3%)増加しています。

また、自画撮り被害は、コミュニティサイト※)に起因するものが約8割を占めています。

自画撮り被害に遭った児童の推移

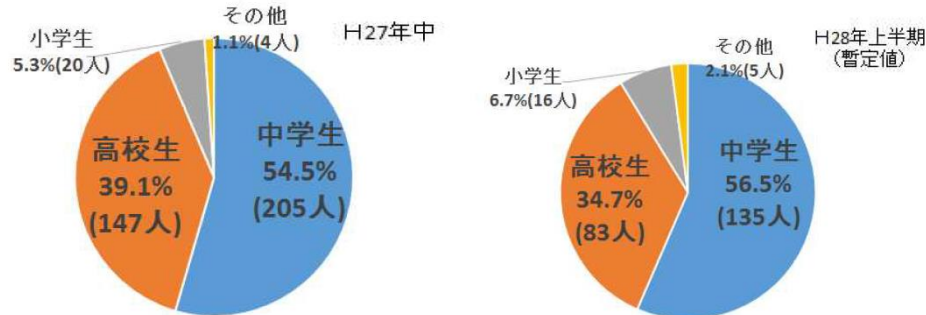


※) SNS、プロフィールサイト等、ウェブサイト内で多数人とコミュニケーションがとれるウェブサイト等のうち、出会い系サイトを除いたものの総称。

## 自画撮りの被害児童の半数以上が中学生

学職別では、平成27年中における自画撮りの被害児童の54.5%が中学生であり、39.1%が高校生です。平成28年上半期における自画撮りの被害児童の56.5%が中学生であり、34.7%が高校生です。

自画撮り被害に遭った児童の学職別の割合



警察庁：「自画撮り被害」防止広報・啓発リーフレット ([https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no\\_cp/index.html](https://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/no_cp/index.html)) より転載

安易な情報発信が、いつまでもインターネット上に残る可能性があるということ。そして情報の内容によっては、犯罪に巻き込まれたり、自分の将来を奪ったりする可能性があるということをよく理解し、正しくインターネットを使っていきましょう。

## 今月のネットパトロール状況

### 学校非公式サイト

(10/31 現在：341 サイト、前月比+3)

●個人情報が掲載されているサイト数	19件
●飲酒・喫煙などの不法行為が掲載されているサイト数	0件
●誹謗中傷が書き込まれているサイト数	42件
●トラブルについて書き込まれているサイト数	0件
●その他（不適切な内容の書き込みがあるサイト数）	40件

### 個人SNSサイト

(10/31 現在：2059 サイト、前月比+57)

●個人情報が掲載されているサイト数	1980件
●飲酒・喫煙などの不法行為が掲載されているサイト数	84件
●誹謗中傷が書き込まれているサイト数	100件
●トラブルについて書き込まれているサイト数	53件
●その他（不適切な内容の書き込みがあるサイト数）	412件

### 【ネットパトロール検索員の所見】

#### <Vineのサービス終了>

Twitterが数か月以内にVineのモバイルアプリケーションの提供を中止する予定であることを発表しました。Vineとは、6秒の動画を投稿できるサービスのことで、以前ネットパトロールだよりでも紹介しました。

本市の子どもたちの中でも人気でしたが、飲酒喫煙動画、裸の動画、いじめではないかと思われるような動画等も投稿されています。

既にVine上に投稿されたコンテンツや、ユーザーがインストールしたアプリケーション等については、当分の間、使い続けられるようです。Vineの今後については、詳細が分かり次第、公式ブログや公式ツイッターアカウントで発表するとアナウンスされています。

現時点では投稿されたVine動画を削除される予定はなく、引き続きアクセスしダウンロードできるようです。アカウントによっては、1年以上放置されているものもあります。

Vine動画に限らず、ネット内に掲載してしまったものは、悪用されたり、拡散の対象になったりと今回のネットパトロールだよりで話題にした「デジタルタトゥー」として、深刻な危険を発信者に及ぼす可能性があります。

今一度、投稿した動画、画像を確認し、ネット内に掲載する危険性について意識する必要があります。